



直接体験を豊かに！

「SDGs (エスディージーズ)」ということばを正月中にもCMでもよく目にしました。YAC活動や学校の授業で積極的に取り組んでいますね。

環境庁のパンフレットにSDGsを達成するためのESDについて説明してある資料を目にしました。右の2枚の写真を思い出しました。近所のお家の庭に柿の木です。毎年高いところの実が残しておられます。正月の頃になるとヒヨドリやスズメやメジロが**お食事会**でにぎやかです。

「鳥類の好む果実」「えさ場での鳥類の力関係」「鳥類の行動」...と、いろいろなことを大きく考える前に、自分が个性化的に新鮮に「おや！」と気づいた事を、まず**ちょこっと**調べてることが大切ではなかろうか考えたことがあります。「SDGs」「ESD」の取組みこそ、ひとりひとりの「おや！」をあたためることが大切です。

身近な野鳥については絶好のサイトがあります。そのwebサイトを紹介します。 「日本の鳥百科」です。自分の「おや！」という直接体験が豊かになります。「おや！」が「ESD」に火をつけてくれます。

<https://www.suntory.co.jp/eco/birds/encyclopedia/>



webサイト紹介

鳴き声もチェック

鳴き声で探そう!

調べた記録

検索条件

特徴で探そう!

大きさ	特大	大	中
特徴的な色	茶系	白系	黒系
季節	春	夏	秋
環境	市街・住宅地	河川・湖沼	海

©サントリ

デジタル時代の今日です。このようなwebサイトが多様に利用できます。感謝感謝です。

小学生向け環境教育パンフレット

一人ひとりの力は小さくても、みんなが協力して取り組むことが**大きな力**になるよ!

SDGsを達成するためにはどうすればいい?

- ① **問題に気づこう!**
- ② **問題をよく調べよう!**
- ③ **何ができるか考えよう!**
- ④ **できることを実行してみよう!**

<https://www.env.go.jp/content/900497883.pdf>



ESDとは

世界の人々や、地球上の生き物、そしてこれから先の未来のことも考えて、みんなが幸せに暮らしていける地球にしていけるために、わたしたち一人ひとりができることを考え、行動するための学びです。

※ESDは Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育) の略称です。

SDGsとは

持続可能(じぞくかのう)な世界を実現するために、2030年までに達成すべき国際社会全体の目標です。

「地球上の誰一人として取り残さない」を理念に、行動変革につなげるため一人ひとりが持続可能な社会づくりに必要な知識とスキルを得ることなどが掲げられています。

※SDGsは Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称(りやくしょう)です。